



こ かがや あい こころゆた こども め ざ 個が輝き ふるさとを愛する 心豊かな子供たちを目指して

こうちょう なかむら まさと
校長 中村 真人

もうすぐ3月になります。春の訪れが近づいてきました。2月は、寒い日が多く、硫黄島にも雪が積もるのではと期待しましたが、残念ながら叶いませんでした。自然現象にはかきませんが、それでも三島硫黄島学園のみんなは変わらず元気に過ごしています。先日行われた縄跳び発表会では、子供たち自身が目標を設定し、達成するため日々練習してきた成果を発表しました。最後には、後期生が難しい技の「つばめ」や「三重跳び」を披露し、応援に駆けつけてくれた地域の方からたくさんの拍手をいただきました。目標を達成するために頑張っている姿はとてまかっこいいです。これからも挑戦し続ける三島硫黄島学園の子供たちであってほしいと願っています。

さて、ここで令和7年度の本学園の教育目標を紹介します。今年度同様、「個が輝き ふるさとを愛する 心豊かな児童生徒を育成する」を教育目標に掲げ、更に子供たちが自分らしく輝ける場を提供できるよう努力していきたいと考えています。さらに、キャッチフレーズを「やってみよう ありがとう なんとかなる あなたらしく」と新たに設定したいと考えています。具体的には

- やってみよう: 夢や目標を見つけ、それに向けて努力したり成長したりしよう。
- ありがとう: 周囲にいる様々な人とのつながりを大切にし、感謝の気持ちをもとう。
- なんとかなる: 物事を明るく前向きに捉え、常にチャレンジ精神をもとう。
- あなたらしく: 他人と比較することなく自分らしく生きよう。

この言葉には、挑戦する勇気や感謝の心、前向きに考える精神、そして自分らしさを大切にする思いが込められています。そんな三島硫黄島学園の子供たちになったら、もっと楽しくなるのではないのでしょうか。令和7年度も保護者、地域の方の協力をいただきながら、学園、地域が一体となって子供たちを育てていく環境を作っていきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

<自律した学習者を目指して>～主体性を消さないために～

先日、大学の先生2名が本校を訪問されました。その先生から「最近の学生は自分で考える力がなくて困っている。先日、実習の際に机上がゴミだらけになっていたから、なぜゴミ箱に捨てないのか?と聞くと、「先生が言ってくれないから捨てなかった。」と返事がきたんですよ。」と話してくれました。その学生の生い立ちを想像しながら、脳科学についての講演を思い出しました。“三つ子の魂100までということわざがありますよね。人間は生まれたときから主体性をもっている。赤ちゃんは指示しなくても自ら行動を起こしますよね。実は大人たちによって赤ちゃんの主体性は失われていくものなんです。3歳から5歳くらいまでに脳のシナプスが形作られていきます。それまでに周囲の大人たちの関わりによって、脳の土台が形作られるので、主体性を消さないようにしないといけない。”というものでした。学園は、子供たちが自律した学習者になるための授業を模索していきます。

やまがたけいずみしょうがっこう こうりゅう <山形県 泉 小学校との交流>

ざいにち たいし らい
在日ギニア大使・在ギニア日本大使が来島できませんでしたが、山形県の泉小学校とリモートで交流会を実施しました。ギニア大使・日本大使もリモートで参加され、国際的な交流会となりました。



じゅぎょうさんかん がっこうほけんいいんかい ほごしゃかい <授業参観・学校保健委員会・保護者会>

13日(木) 授業参観・学校保健委員会・保護者会が行われました。参観していただいた保護者・地域の皆様ありがとうございました。



はっぴょうかい <なわとび発表会>

8日(土) 体育館でなわとび発表会を実施しました。保護者の皆様、地域の方々に応援されながら、日頃の練習の成果を発揮できました。子供たちのキラキラ輝く笑顔が素敵なひとときをありがとうございました。



インスタ
フォロー
してね

MISHIMAKK01



みしまっこ
日記も
よろしく